

未来のために  
今知っておきたい研究が、  
ここにある。

# JAMSTEC 2026

## 海洋研究開発機構 報告会

参加費  
無料

9.30 WED  
14:30-17:45  
14:00 開場

### 会場

東京国際フォーラム ホールB7  
東京都千代田区丸の内3丁目5-1

事前登録制

### オンライン視聴

YouTube (日本語) / Zoom (同時通訳)

### 参加・視聴方法

お申し込みや視聴に関する詳細は、こちらのURLをご覧ください。  
<https://www.jamstec.go.jp/j/pr-event/jamstec2026/>



## PROGRAM

14:30-14:45 開会挨拶・来賓ご挨拶

### 第1部

14:45-15:55

- 第5期中長期計画のロードマップ
- 令和7年度における研究開発活動のご報告
- 地球と海と生命が誕生する前の化学進化  
～科学史上3例の小惑星サンプルからの探究
- 海洋ビジネスのフロンティア開拓

16:00-16:45 休憩：ポスターセッション

ポスターWEB閲覧はこちら



<https://www.jamstec.go.jp/j/pr-event/jamstec2026/poster.html>

### 第2部

16:50-17:40

- 海洋地球デジタルツインで  
みえるもの、できること
- 世界最深部からのサンプルリターン成果と  
次期深海探査構想

17:40-17:45 閉会挨拶

※ 講演内容、時間等に変更になる場合がございます。

### 南鳥島レアアース関連コーナー

JAMSTECは、内閣府戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)第3期「海洋安全保障プラットフォームの構築」の中核を担い研究開発を推進しています。2027年2月から地球深部探査船「ちきゅう」や南鳥島を活用した本格的な実証試験を控えている南鳥島レアアース関連の進捗について、ポスターセッション会場でご紹介します。

お問い合わせ

企画部門 事業推進部 連携推進課  
E-mail: [annual\\_report\\_meeting@jamstec.go.jp](mailto:annual_report_meeting@jamstec.go.jp)



**JAMSTEC** 国立研究開発法人  
海洋研究開発機構  
Japan Agency for Marine-Earth Science and Technology



# JAMSTEC 2026

海洋研究開発機構 報告会

未来のために  
今知っておきたい研究が、  
ここにある。

参加費  
無料

9.30 WED  
14:30-17:45  
14:00 開場

## 会場

東京国際フォーラム ホールB7  
東京都千代田区丸の内3丁目5-1

事前登録制

## オンライン視聴

YouTube (日本語) / Zoom (同時通訳)

## 参加・視聴方法

お申し込みや視聴に関する詳細は、こちらのURLをご覧ください。  
<https://www.jamstec.go.jp/j/pr-event/jamstec2026/>



## PROGRAM

14:30-14:45 開会挨拶・来賓で挨拶

### 第1部

14:45-14:55 第5期中長期計画のロードマップ

理事長 河村 知彦

14:55-15:10 令和7年度における研究開発活動のご報告

理事 小平 秀一

15:10-15:35 地球と海と生命が誕生する前の化学進化  
～科学史上3例の小惑星サンプルからの探究

物質地球科学研究部門 部門長 高野 淑識

私たちは、いま、小惑星・火星・月（有人）へと探査領域を広げる太陽系大航海時代を迎えています。この新しい時代を開拓する技術要素の一つが、「はかる」コアテクノロジーです。私たちは、「地球」や「海」が出来る前、そして、「生命」が誕生する前の物質科学に挑戦しています。炭素質小惑星リュウグウ (Ryugu) やベヌー (Bennu) から持ち帰った黒々とした希少なサンプルは、私たちに何を語りかけるのでしょうか。ここでは、日々進化する研究の現場と太陽系物質科学の新しい描像をご紹介します。

15:35-15:55 海洋ビジネスのフロンティア開拓

企画部門 経営企画部 未来戦略課 課長 牧 武志

科学と技術は国家を前進させる両輪であり、研究開発なくして成長はありません。そして新技術の涵養には需要喚起の市場が不可欠です。そのため、JAMSTECでは新しい海洋産業創出への挑戦を始めました。本講演では、その試行として始めた事業化研究会の取り組みや、資金や技術を循環させる「産官学エコシステム」への展望をご紹介します。

16:00-16:45 休憩：ポスターセッション

ポスターWEB閲覧はこちら

<https://www.jamstec.go.jp/j/pr-event/jamstec2026/poster.html>



### 第2部

16:50-17:15 海洋地球デジタルツインで  
みえるもの、できること

情報地球科学研究部門 部門長 石川 洋一

海洋地球デジタルツインは、観測データ、シミュレーション、そしてAI技術を統合し、社会課題解決の知見を創出する最先端の挑戦です。地球規模から身近な課題までのソリューションを有機的に結合させることで、「何がみえ」「何ができる」ようになるのかを示すとともに、新たな成果を生み出すサイクルを加速し、多層的な社会課題に応えるエコシステムを形成していく姿を、最新の研究事例をもとにご紹介します。

17:15-17:40 世界最深部からのサンプルリターン成果と  
次期深海探査構想

生命地球科学研究部門 部門長 高井 研

JAMSTECでは、3つの科学目的を達成するべく、2025年12月から2026年1月にマリアナ海溝を含むマリアナ沈み込み帯にて航海を行いました。またこの航海では、JAMSTECのサンプルリターン能力の高さと魅力を幅広い層に訴えることによって、新たな海洋調査・深海探査の船や技術に対する欲求や共感を喚起するアウトリーチにも挑戦しました。その試みと成果について紹介するとともに、次期深海探査のあり方やかたちについて、やや個人的な希望も踏まえて話したいと思います。

17:40-17:45 閉会挨拶

※ 講演内容、時間等は変更になる場合がございます。

お問い合わせ

企画部門 事業推進部 連携推進課  
E-mail: [annual\\_report\\_meeting@jamstec.go.jp](mailto:annual_report_meeting@jamstec.go.jp)



**JAMSTEC** 国立研究開発法人  
海洋研究開発機構  
Japan Agency for Marine-Earth Science and Technology

